

# 地域活性化に向け全力投球

## 津市議会

新年を迎え、謹んでごあいさつを申し上げます。

昨年は吉田沙保里選手がレスリング世界大会で16連覇を達成し、津商業高校野球部が夏の甲子園に出場するなど、津市にゆかりのある皆さまが私たちにたくさんの勇気と感動を与えてくれました。選手の皆さまにおかれましては、さらなる高みに向け、ますますのご活躍を願っております。

さて、本年、津市は合併10周年を迎え、津市の4大プロジェクトについては、昨年、新斎場「いつくしみの杜」が業務を開始し、新最終処分場・リサイクルセンターおよびJR名松線の全線運行再開は、それぞれ今春のスタートに向け、また産業・スポーツセンターも完成・供用に向け着実に進んでいます。

一方、国においては、将来にわたって活力ある日本社会を維持するため、人口減少の克服と地方創生を併せて行う「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、多様な主体の参画などによる地域の活性化を目指しており、それぞれの地方公共団体において地域の特色を生かし、自律的で持続的な社会の形成を求めています。

津市議会においては、津市総合計画をはじめとして、さまざまな計画や事業について議論を行ってまいりましたが、これまで以上に市民の皆さまが安心して暮らせるよう、今まで積み重ねてきた議論をさらに深めるとともに、社会情勢の変化や皆さまからいただくさまざまなご意見を真摯に受け止め、津市の今後のまちづくりや地域の活性化に向けて、全力を尽くしてまいります。

また、夏に行われる参議院選挙から、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられます。津市議会はこれまで、議会映像のインターネット配信、傍聴席における手話通訳などを行ってまいりましたが、今後ますます議会が若い世代の皆さまをはじめ、市民の皆さまの身近なもの、開かれたものとなるよう取り組んでまいります。

本年が市民の皆さまにとって、素晴らしい年であることを心よりお祈り申し上げます。